平成１７年１２月期　第３四半期財務・業績の概況（連結）

平成１７年１０月２５日

会　社　名　ニスカ株式会社　　（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号：６４１５）
（ＵＲＬ　http://www.nisca.co.jp）
代　表　者　役　職　名　代表取締役社長
　　氏　　名　中里　賢次
問い合わせ先　責任者役職名　理事 管理部長
　　氏　　名　宇津　秀昭　　(Tel：(0556)22－6600(代表))

１．四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　：　有

(内容)

一部の連結子会社は、税効果会計に簡便法を適用しております。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無　：　無

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：　無

２．平成１７年１２月期第３四半期財務・業績の概況（平成１７年１月１日 ～ 平成１７年９月３０日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況　　（注）記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円　　%	百万円　　%	百万円　　%	百万円　　%
17年12月期第３四半期	33,242　(△1.4)	2,604　(△21.1)	2,833　(△17.8)	1,790　(△21.4)
16年12月期第３四半期	33,712　(18.6)	3,299　(39.1)	3,447　(46.0)	2,278　(42.9)
(参考)16年12月期	44,929	4,085	4,146	2,758

	１株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益
	円　　銭	円　　銭
17年12月期第３四半期	174　　53	―
16年12月期第３四半期	222　　04	―
(参考)16年12月期	263　　78	―

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

［経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等］

当第３四半期までの我が国の経済は、原油など原材料価格の高騰が続きましたが、企業収益の改善に支えられ設備投資や個人消費の増加により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループ関連市場におきましては、複写機は買い替え需要により底堅く推移し、ビデオカメラは横ばい、デジタルカメラは海外向けを中心に出荷台数を伸ばしましたが、各市場ともに販売価格の下落がさらに進みました。

このような環境の中で、当社グループはＯＡ機器関連事業では売上を伸ばしましたが、光学計測機器関連事業では売上が大幅に減少し、当第３四半期までの売上高は３３２億４千２百万円（前年同期比１．４％減）となりました。

一方、第３四半期までの利益面につきましては、利益確保のための原価低減活動を進めてまいりましたが、販売価格の下落、原材料価格の高騰や光学計測機器関連事業の売上減少によって、営業利益は２６億４百万円（前年同期比２１.1%減）、経常利益は為替差益の増加により２８億３千３百万円（前年同期比１７．８％減）、四半期純利益は１７億９千万円（前年同期比２１．４％減）となりました。なお、四半期純利益の減少には、前年同期に厚生年金基金の解散に伴う特別利益２億９千３百万円を計上したことも影響しております。

事業の種類別セグメントの業績概況は次のとおりであります。

① ＯＡ機器関連事業

ペーパーハンドリング事業では、自動原稿送り装置が前年並みの販売数量を確保しましたが、価格競争の激化により売上は減少しました。このような厳しい環境の中、オフィスでの省力化やオンデマンドプリントの市場ニーズにマッチしたフィニッシャは、カラー機や高速機で高い装着率となり売上が順調に拡大しました。

スキャナ事業では、ＭＦＰ市場が世界的に拡大する中、Ａ３カラースキャナの新製品を中心にＭＦＰ用スキャナの売上が伸長するとともに、デザイナーなどのプロ用途に適した高解像度のカラースキャナが好評を博しました。